

平成19年度

群馬県児童生徒の
携帯電話・インターネット
実態調査結果（概要）

群馬県教育委員会義務教育課

平成20年3月

平成19年度群馬県児童生徒の携帯電話・インターネット実態調査結果（概要）

義務教育課

1 名称 平成19年度群馬県児童生徒の携帯電話・インターネット実態調査

2 趣旨

小中学生の携帯電話所持率があがり、携帯電話やインターネット等による問題行動や子ども達の被害が多発している現状がある。そこで、群馬県全体の児童生徒の携帯電話等の実態を把握し、今後の施策の基礎資料とするとともにその対策を検討する際の資料とする。

3 対象 県内公立小学校5学年 抽出校32校各1クラス 児童数 計808人 県内公立中学校2学年 抽出校29校各1クラス 生徒数 計914人 (なお、抽出校は無作為抽出)

4 調査期間

平成20年2月1日（金） ～ 平成20年2月7日（木）

5 調査結果の概要（特徴的な結果について）

(1) 携帯電話所持率

小学校5年生で自分専用の携帯電話の所持率は17.1%、中学2年生は47.7%である。また家族共用の携帯電話の所持率も合わせると、小5では33.9%、中2では63.1%である。

(2) 携帯電話やインターネットの家庭での利用時間

中学2年で1日に3時間以上利用している生徒は13.5%で約7.5人に1人の割合である。また、2時間より多く利用している生徒は、23.9%に達し、約4人に1人の割合である。

(3) 知っている言葉について

中2では、ブログ、モバイルゲーム、着メロダウンロードサイト、画像ダウンロードサイト等、通常使ったり話題になったりすると思われる言葉について、8割程度の高い割合の回答があった。小5でも、モバイルゲームやブログを知っている割合が5割程度である。

以前から話題になっている学校掲示板については、中2でも半数程度しか知らない現状である。

(4) 出会い系サイトやモバイルゲームについて

「出会い系サイトで知り合った相手と会ったことがある」との回答が、小5（4人）中2（6人）といることについて注意する必要がある。インターネットを利用する際のリスク管理についての、指導が必要であると考えられる。

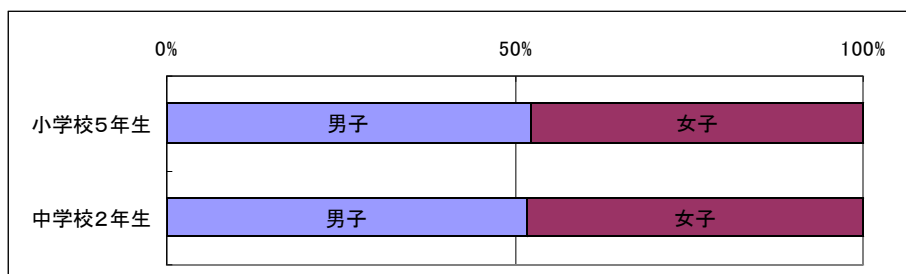
小5で調査対象の1%を超える児童（9名）が、モバイルゲーム※を通じて知り合いを作っている。中2では、調査対象の1割に近い73名が、知り合いを作っている点に注意すべき点といえる。

※ モバイルゲームは、ゲームで遊ぶだけではなく、簡単に不特定多数の人間と匿名で知り合うことができるため注意が必要なサービスである。特に、成人男性が年齢と性別を偽って、連絡をしてくる例が多い。

6 調査結果データと分析について

(1) 男女比について

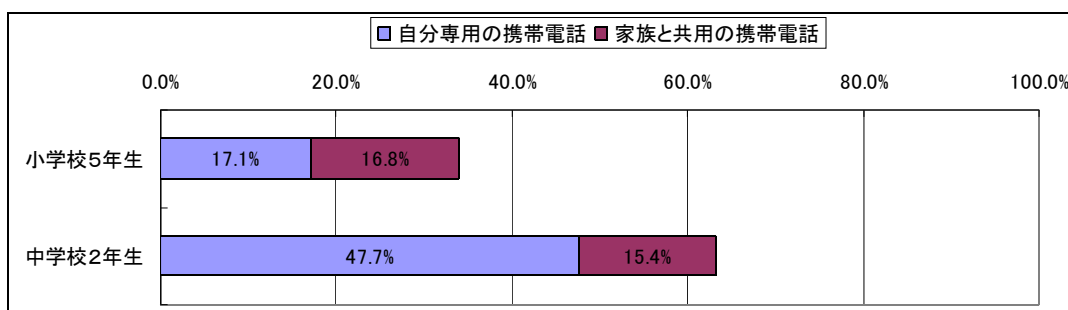
	小学校5年生	中学校2年生
男子	52.4%	51.8%
女子	47.6%	48.2%



(2) 携帯電話の所持率について

	小学校5年生	中学校2年生
自分専用の携帯電話	17.1%	47.7%
家族と共用の携帯電話	16.8%	15.4%
計	33.9%	63.1%

	小学校5年生	中学校2年生
自分専用のインターネットが使えるコンピュータ	4.5%	10.6%
家族と共用のインターネットが使えるコンピュータ	58.2%	61.3%
計	62.6%	71.9%



まず、児童生徒が家庭で Web への接続する環境についての設問である。

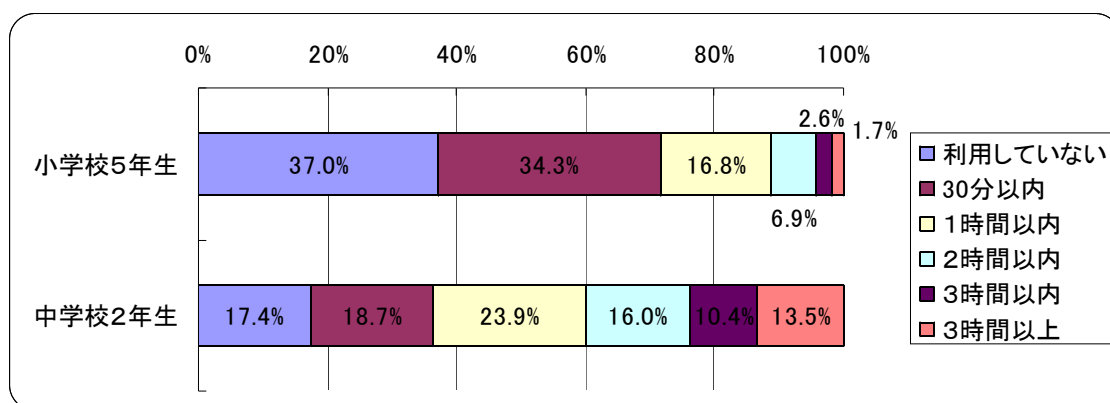
自分専用の携帯電話を所持しているのは、小5で6名に1人(17%)、中2で2人に1人(47%)である。家族と共用の携帯電話を加えると、小5で3人に1人(33%)、中2で3人に2人(63%)の子どもが、携帯電話を利用できる環境にある。

また、その他に、自分専用でコンピュータからインターネットが使える児童生徒も、小5で約5%、中2で約10%いる。家族と共用も含めると、多くの児童生徒が、家庭からインターネットができる環境にあることがわかる。

このほか、本調査では調査対象にしていないが、ゲーム機やテレビ等からのインターネット接続が可能であり、たいへん高い割合で直接インターネットの世界につながっている現状が推測される。

(3) 家庭での携帯電話やインターネットの利用時間

	小学校5年生	中学校2年生
利用していない	37.0%	17.4%
30分以内	34.3%	18.7%
1時間以内	16.8%	23.9%
2時間以内	6.9%	16.0%
3時間以内	2.6%	10.4%
3時間以上	1.7%	13.5%



家庭での携帯電話やインターネットの利用時間であるが、中2で1日に3時間以上利用している生徒が 13.5 %で、約 7.5人に1人の割合である。また、2時間より多く利用している生徒は、23.9 %に達し、約4人に1人の割合である。

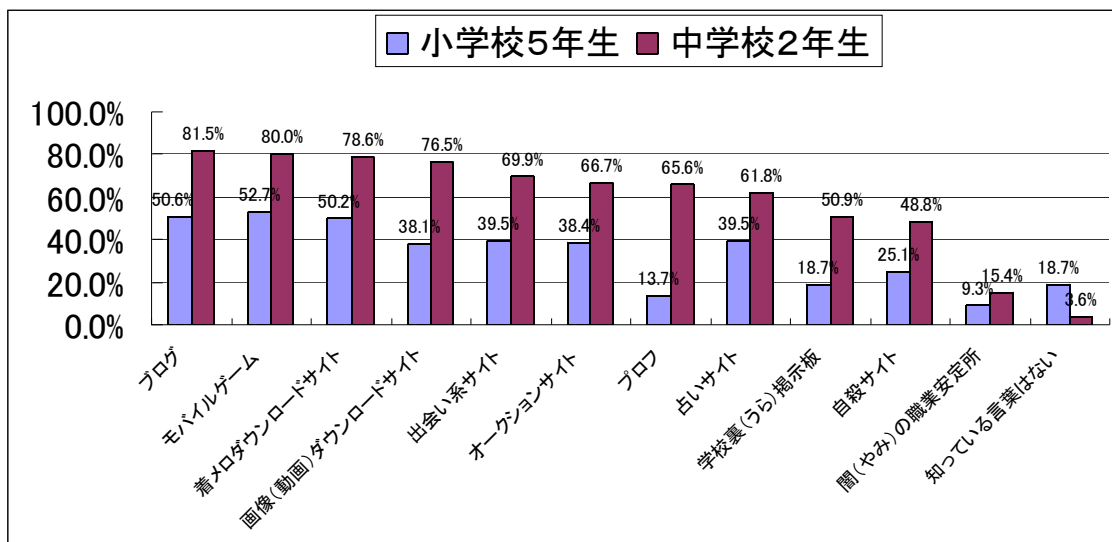
家庭での携帯電話やインターネットの利用時間<学年別・男女別>

	小学校5年生		中学2年生	
	男子	女子	男子	女子
利用していない	38.6%	35.5%	22.6%	12.1%
30分以内	35.4%	32.6%	20.5%	17.2%
1時間以内	15.7%	18.3%	23.9%	24.4%
2時間以内	3.9%	10.1%	14.0%	18.6%
3時間以内	3.1%	2.1%	9.1%	12.3%
3時間以上	1.7%	1.6%	9.1%	18.8%

家庭での携帯電話やインターネットの利用時間の男女別データであるが、小5では、男女差はあまり認められない。中2女子は、3時間以上の利用が男子の2倍になっており、調査項目のいずれでも女子の方が高い割合で回答されている。

(4) 知っている言葉

	(複数回答可)	小学校5年生	中学校2年生
ブログ		50.6%	81.5%
モバイルゲーム		52.7%	80.0%
着メロダウンロードサイト		50.2%	78.6%
画像(動画)ダウンロードサイト		38.1%	76.5%
出会い系サイト		39.5%	69.9%
オークションサイト		38.4%	66.7%
プロフ		13.7%	65.6%
占いサイト		39.5%	61.8%
学校裏(うら)掲示板		18.7%	50.9%
自殺サイト		25.1%	48.8%
闇(やみ)の職業安定所		9.3%	15.4%
知っている言葉はない		18.7%	3.6%



携帯インターネットに関して知っている言葉の設問であるが、表とグラフは中2の回答について、割合の高いものから順に並べたものである。

特に、中2では、ブログ、モバイルゲーム、着メロダウンロードサイト、画像ダウンロードサイト等、通常使ったり話題になったりすると思われる言葉について、8割程度の高い割合の回答であった。また、出会い系サイトについては、報道等で取り上げられていたりしているためか、次の設問(「6(5)」)の回答で「見たことはない」児童生徒がほとんどなのに対して、知っている割合は高くなっている。

以前から話題になっている、学校掲示板については、中2でも半数程度しか知らない状況である。

(5) 出会い系サイトについて

	(複数回答可)	
	小学校5年生	中学校2年生
見たことはない	90.0%	82.2%
見たことはあるが、利用したことはない	9.2%	15.9%
出会い系サイトを利用してメール交換したことがある	0.5%	0.9%
出会い系サイトで知り合った相手と会ったことがある	0.5%	0.7%

「6 (4) 知っている言葉」の調査で、小5で約4割、中2で7割が知っているとは回答した出会い系サイトについての利用経験の設問である。

一般に、健全に運営されている出会い系サイトもあるが、出会い系サイトの機能を悪用する大人がいることで、児童生徒の被害や問題行動につながっている点が大きな課題となっている。

子ども達が利用する様々なページに、これらの出会い系サイトにリンクが貼られており、知らないうちに見ている場合も考えられる。

調査結果で、出会い系サイトで知り合った相手と会ったことがあるのが、小5 (4人) 中2 (6人) と少数でもいることが現状であり、インターネットを利用する際のリスク管理についての、指導が必要であると考ええる。

(6) 携帯電話の「モバイルゲーム」について

	(複数回答可)	
	小学校5年生	中学校2年生
見たことはない	67.8%	49.3%
見たことはあるが、利用したことはない	25.1%	28.1%
モバイルゲームに登録し、利用したことがある	5.8%	19.4%
モバイルゲームで知り合った友だちがいる	1.1%	8.0%

「6 (4) 知っている言葉」の調査で、小5で約5割、中2で8割が知っているとは回答したモバイルゲームについての利用経験の設問である。

現在、モバイルゲーム※が問題とされているのは、単にゲームで遊ぶだけではなく、簡単に不特定多数の人間と、匿名で知り合うことができるためである。とくに、成人男性が年齢と性別を偽って、連絡をしてくる例がたいへん多く、リスク管理の考え方を指導していく必要がある。

本調査でも、小5の児童でも調査対象の1%を超える児童(9名)が、モバイルゲームを通じて知り合いを作っている。中2では、調査対象の1割に近い73名が、知り合いを作っている点が留意すべき点といえる。

※一般にSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)と呼ばれているが、友人・知人間のコミュニケーションを促進する手段や場、あるいは趣味や嗜好、居住地域、出身校、「友人の友人」といった自身と直接関係のない他人との繋がりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供している点である。

(7) プロフィールサイトについて

	(複数回答可)	
	小学校5年生	中学校2年生
見たことはない	91.2%	51.1%
見たことはあるが、自分のプロフはもっていない	6.2%	35.0%
自分のプロフをもっている	1.2%	11.6%
プロフで知り合った友だちがいる	0.1%	6.5%

「6 (4) 知っている言葉」の調査で、小5で約1割強、中2で6割以上が知っている
と回答したプロフィールサイト（プロフ）についての利用経験の設問である。

プロフィールサイトは、自己紹介を Web 上で行うものであり、自己プロフィール等
を含め簡単に情報発信ができる、携帯電話を利用したサービスである。この、プロフイ
ールサイトが問題とされている点は、個人情報の無防備な公開である。十分な知識のな
い児童生徒は、自分の顔写真や本当の名前などを公開してしまったり、家族や友達等の
個人情報も知らずに公開してしまうことがあり、情報を悪用される事例がある。また、
アダルトサイト等へのリンクが自動的に貼られることもよくある。

調査結果から見ると、中2の生徒は、5割程度の生徒が実際に見たことがあり、1割
の生徒が自分のプロフを持っていることが分かる。

プロフィールサイトについて<学年別・男女別> (複数回答可)	小学校5年生		中学2年生	
	男子	女子	男子	女子
見たことはない	91.1%	91.2%	65.5%	36.7%
見たことはあるが、自分のプロフはもっていない	5.5%	6.9%	28.7%	42.9%
自分のプロフをもっている	1.4%	1.1%	3.9%	20.4%
プロフで知り合った友だちがいる	0.0%	0.3%	2.2%	11.4%

プロフィールサイトについては、男女差が顕著で、特に中学2年生について明らかな
差が見られる。この設問は複数回答を認めている。「プロフはもっていないが見たこと
がある」生徒は、女子で4割を超えており男子と比較すると約1.5倍となっている。「自
分のプロフをもっている」女子生徒は、2割を超えており、男子と比較すると5倍を超
えている。また、「プロフで知り合った友達がいる」女子生徒は、1割を超え、男子と
比較するとやはり5倍を超えている。

このように、プロフィールサイトについては、明らかに女子生徒に強い関心を持たれ
ていることがわかる。

(8) 学校裏掲示板について

(複数回答可)	小学校5年生	中学校2年生
見たことはない	91.6%	79.0%
見たことはあるが利用したことはない	5.8%	16.5%
書き込みをしたことがある	0.4%	1.6%
自分の学校(学級)の掲示板がある	0.4%	4.3%
近くの学校の掲示板がある	0.5%	2.8%
掲示板に、自分のことを書き込まれたことがある	0.2%	2.1%
掲示板に、友だちのことが書き込まれたことがある	0.2%	3.6%

「6 (4) 知っている言葉」の調査でも、小5で約2割、中2で5割が知っていると回答した学校裏掲示板についての利用状況の設問である。

学校裏掲示板は、電子掲示板の一種で、学校名を冠したサイトを子ども自らが立ち上げ、様々な文章を自由に書き込めるサービスである。この掲示板の書き込みが、たいへん過激な表現になることや、個人情報や不適切な情報を書き込まれたり、いじめのツールとして利用されたりするため、問題行動へつながる危険性が指摘されている。

調査結果から見ると、小5、中2ともに割合が低く、学校裏掲示板から他のインターネット上のサイトに関心に移りつつあることが推測される。

(9) 携帯電話やインターネットを使っていて困ったこと

(複数回答可)	小学校5年生	中学校2年生
困ったことはない	91.1%	77.9%
身に覚えのない高額な請求があった(不当請求)	0.7%	2.3%
利用料金が高くなった	2.8%	11.1%
悪口やデマを流された	0.5%	2.0%
自分の写真を公開された	0.0%	0.7%
おどかされたことがある	0.4%	1.9%
学校以外の人とトラブルになってしまった	0.2%	1.2%
迷惑メールがふえた	2.4%	7.9%

携帯電話やインターネットを使っていて困ったことについて、「困ったことはない」と回答した児童は、9割を超え、中学生も8割近くは「困ったことはない」と回答している。

しかし、小5と中2を比較すると、利用の機会が多いためか、中2のほうが困ったことが増えている。この中で、特に留意する者は、「悪口やデマを流された」や「脅かされたことがある」「学校以外の人とトラブルになってしまった」等、回答数は少ないが答えている児童生徒がいることには注意したい。

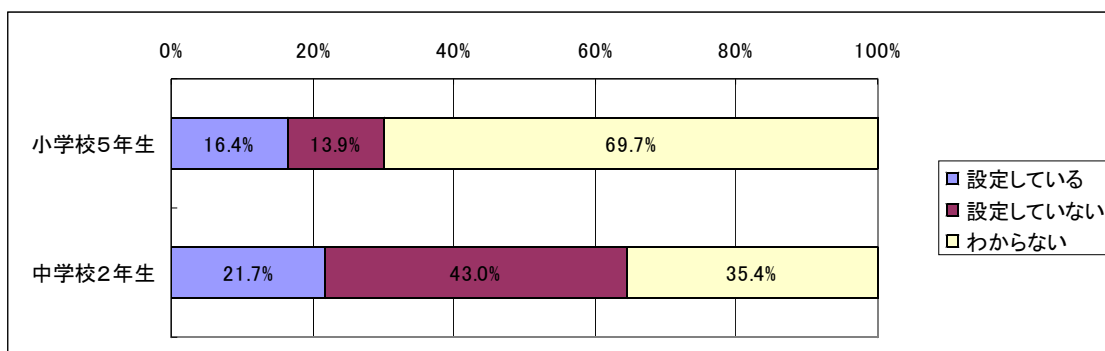
(10) 携帯電話やインターネットなどの使い方について親とのきまりや約束があるか。

(複数回答可)	小学校5年生	中学校2年生
利用していない	41.6%	16.5%
料金を使いすぎない	15.7%	35.4%
使う時間を決めている	24.4%	16.3%
自分の部屋では使わない	5.1%	3.8%
フィルタリングをかける	4.0%	7.5%
不安なことがあったら必ず相談する	20.7%	10.9%
きまりや約束は何もない	14.4%	28.6%

家庭で携帯電話の保護者との利用上のきまりや約束についての回答である。
保護者との約束で一番多いのは料金についてであり、保護者の携帯電話等の問題意識は、料金についてが多くなっている現状が分かる。また、きまりや約束は何もないと答えた中2生徒が3割を超えている点にも、保護者の意識啓発も今後の課題と考えられる。

(11) フィルタリングの設定がしてあるか。

	小学校5年生	中学校2年生
設定している	16.4%	21.7%
設定していない	13.9%	43.0%
わからない	69.7%	35.4%



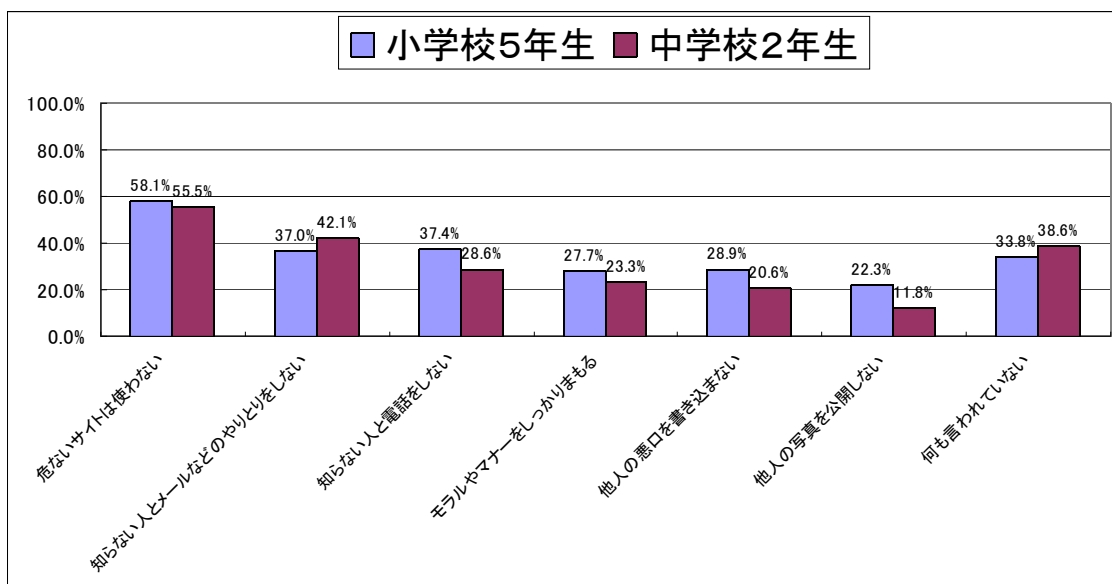
フィルタリングは、アクセス制限といい、アダルトサイトや、出会い系サイト、危険な情報を含むサイトに、児童生徒にはふさわしくない情報に直接アクセスできないような制限を自動的にかけるサービスである。フィルタリング機能により、閲覧できるサイトは制限されるが、知らないうちに危険な情報に接触することを防ぐ役割をする。現在では、未成年者に携帯電話を販売する際にフィルタリングの設定をかけることとなっている。

調査結果を見ると、実際にフィルタリングをかけているのは、まだ少数であることも見受けられる。

(12) 親から話したり注意されたりしていること

	(複数回答可)	
	小学校5年生	中学校2年生
携帯電話やインターネットを利用していない		
危ないサイトは使わない	58.1%	55.5%
知らない人とメールなどのやりとりをしない	37.0%	42.1%
知らない人と電話をしない	37.4%	28.6%
モラルやマナーをしっかりとる	27.7%	23.3%
他人の悪口を書き込まない	28.9%	20.6%
他人の写真を公開しない	22.3%	11.8%
何も言われていない	33.8%	38.6%

※携帯電話やインターネットを利用している児童生徒に対する割合



親から話したり注意されたりしていることについて、携帯電話を利用している児童生徒に対する割合を示している。中2の回答の割合が多い項目から順に並び替えてある。

この結果を見ると、出会い系サイトやメール・電話など、不特定多数の人との接触について注意している様子が見受けられる。また、全体的に小学生より中学生のほうが、親から注意される割合が低くなる傾向が見られる。

親から何も注意を受けていない児童生徒が、3分の1を超えている点が今後の課題と考える。